

編集・発行
町田市男女平等推進センター
運営委員会
町田市原町田4-9-8
町田市民フォーラム3階
Tel. 042-723-2908



第12回まちだ男女平等フェスティバル 2月4・5日
参加者は今年も2700人を越える!

メイン企画

映像作家 鎌仲ひとみさん講演会
「いま私たちの手に
未来の選択権がある」

昨年起きた大震災と原発事故は、大量の電力を消費する東京に住む私たちに「原発」の問題を突きつけてきた。そこで今回のメイン企画の講師に核と生命の問題をテーマにドキュメンタリー映画を撮り続けている鎌仲ひとみさんをお招きしました。講演の一部を紹介します。

「取材で戦争が終わったイラクを訪れたとき、劣化ウラン弾の放射線の内部被曝によって様々な癌や白血病に侵される子どもたちが増えていることを知り、その子どもたちとの出会いが、核と放射能の問題に取り組みきつかけとなり映画『ヒバクシャ』を制作した。実は、劣化ウラン弾は



原発のゴミから作られている。今回の原発事故とイラクの状況は似ている。」さらに二作目『六ヶ所村ラプソディー』で取り上げた青森県六ヶ所村の再処理工場をめぐる地域経済と原発産業の問題、再処理工場と核燃サイクルの危険性、原発を推進する5千人の官僚など日本のエネルギー政策の歪みとエネルギーシフトの必要性を強調されました。そして今、「内部被曝」をテーマとした最新作を制作中とのこと。「今回の原発事故で大量の放射性物質が放出され汚染が広がってしまった。研究者によって危険性が見解に違いが見られ、感受性も個人差がある。そんなグラデーションがある中で一人一人が自分で判断していかなければならぬ。そのための情報を提供したい。」と新作に込めた思いを語られました。マスコミの情報については「鶴呑みにせず30%信じるくらいがいい。私の話だつて疑ってほしい」とニッコリ。

最後に「日本は世界から見ても自然エネルギーの宝庫。太陽光、風力、波力、小水力発電などたくさんある。発送電分離、電力会社間で電気を融通できる平準化、自由化も必要。その実現には市民が声を上げていくことが大切。給食の放射線量をゼロにすることなども要望していったほしい」と参加者に呼びかけ、満場の拍手のうちに終了しました。

その他の企画より

平安貴族女性の婚活！？2/4
幼少期より行われる生育儀礼の目的は？
 講師：彦由三枝子さん
 摂関家クラスの貴族では、婚姻関係を利用して家の繁栄を築こうとする親の思惑から、娘を后がね=皇后候補として大切に育てました。
 藤原道長の娘、彰子に焦点を当て生育儀礼を見ていく中で、当時望まれた貴族女性像、結婚までのプロセス、上層貴族社会のあり様まで、たくさんのこととお話下さいました。



高齢期の住まい方を考える 2/5
～あなたは自宅派？施設派？～
 講師：小柴 誠さん
 はじめに、自立か要介護か、独居か夫婦か娘と同居かなど、5タイプの事例紹介があり、自宅に住み続けるために必要なこと、高齢者向け住宅には住居系と施設系があり条件や費用が違うこと、それぞれのメリットデメリット、施設の選び方など詳しくお話しいただき満席の会場からは活発な質疑応答がありました。



「仕事と家庭の両立推進企業賞」

受賞企業が決定しました！

第4回「仕事と家庭の両立推進企業賞」に、社会福祉法人福音会（町田市野津田町）が決定しました。子育てや介護など各自の希望と事情に沿った様々な勤務時間のパターンの作成や、休暇の取得推進など、詳しい取り組みは今後、町田市ホームページや、パンフレットで紹介いたします。



～開催された企画から～

上映会 「**うまれる**」 命と家族、絆の物語 2/18

小さいお子さんと一緒に見ることができる、午前の部「ママさんタイム」では、上映終了後ご家族そろって和やかな雰囲気です。午後の部上映後に行われた豪田監督講演会では、熱心な質問や映画の感想に一つ一つ丁寧に応対されている監督のお人柄がとても印象的でした。



音シネマでトーク

センターにある映画を大きなスクリーンで観て、感想などを話し合います。無料。

* 4月10日(火)14:00～
「17歳の肖像」08年英国イギリス女子高生ジェニーの、つまずきと再生を描く、すがすがしい人生賛歌。

* 5月8日(火)14:00～
「インビクタス/負けざるものたち」09年アメリカ南ア大統領マンデラが差別と格差をなくすため、サッカーワールドカップ制覇に向け奮闘する姿を描く。

* 6月12日(火)14:00～
「毎日かあさん」11年日本アルコール依存症のカメラマンの夫、漫画家の妻と二人の子の笑いと言情の実話。

会場：町田市民フォーラム
3階 活動室

新刊書紹介

図書館の貸し出しやDVD・ビデオの視聴ができます！

「女性社長が日本を救う」横田響子 マガジンハウス

著者は6年間の会社勤めの後、女性経営者の支援とプロジェクトベースの仕事を増やすことを目的に会社を設立、「女性社長.com」を企画運営中。本書は著者が出会った女性社長を通して新しい時代の働き方、生き方を紹介。「女性は社長に向いている」「あなたの働き方の選択肢に「社長」を加えよう！」と大胆な提案ですが、女性社長が増えれば日本が元気になること間違いなし。

「めざめる女 つぶやく男」ジェンダー・学び・プロジェクト編 解放出版社

富田林市立中央公民館の実行委員会が全国から募集したジェンダーエッセイを編集したのが本書です。「ジェンダー」とは社会的・文化的につくられた男らしさ、女らしさのこと。「男は泣くな」「女の子は青でなく赤にしなさい」「男性の部下は『部下』で女性の部下は『女の子』?」「保護者欄に夫の名前を書いてしまう」など日常の何気ない場面で「何かへん」と気づいた体験を、主婦、共働き、シングル、男性、子ども、など多様な人たちが寄せています。

「不惑のフェミニズム」上野千鶴子 岩波現代文庫

一九七〇年に日本で産声をあげたウーマンリブ(第2波フェミニズム)も40という不惑の年齢を迎えた、という著者は、自らその「動き」を創り出してき女性学研究の第一人者。本書は80年代からメディアに発表してきた著者の「時事発言」をまとめたものです。女性が男性化するのではなく、女性が女性のままで解放されることをめざすフェミニズム思想は、男性解放にもつながるものであり、女性だけでなく男性にも共感されるものではないでしょうか。

男女平等推進センターに団体登録を！

「女だから、男だから…」ではなく「誰もがいきいきと自分らしく！」そんな願いを持って活動している団体、グループは、男女平等推進センターに団体登録できます。登録すると部屋の使用が優遇されます。団体同士の交流・研修(各年1回)で互いに学び合い、「まちだ男女平等フェスティバル」(毎年2月)で活動を広げましょう！

詳しくは男女平等推進センターまで

☎ 042-723-2908

